

平和の花束 2019

鹿屋から平和へのメッセージを発信します。小学生から高校生まで、応募のあった3,758点の作品の中から、受賞作品の朗読を行います。

また、旧海軍飛行場ゆかりの地である4市（兵庫県姫路市・加西市、大分県宇佐市、鹿屋市）で構成する「空がつなぐまち・ひとづくり協議会」と連携して、各市の子どもたちが、それぞれの平和の取り組みについて交流を深めます。

●日時 8月29日（木）13:30～16:30

●場所 リナシティかのや3階ホール

●入場料 無料

●プログラム

【第1部】 平和へのメッセージ

受賞者表彰、最優秀賞受賞者朗読

【第2部】 講演「宇佐の戦争遺跡と子どもたちの取り組み～発掘、保存、伝承の活動を通して～」

講師 平田 崇英 氏（「豊の国宇佐市塾」塾頭）

子どもたちによる意見交換会

市学校教育課 Tel 0994-31-1137

原爆パネル展

戦争のない平和な世界の実現を目指すために、原子爆弾の悲惨さ、平和の大切さを伝えるパネル展です。

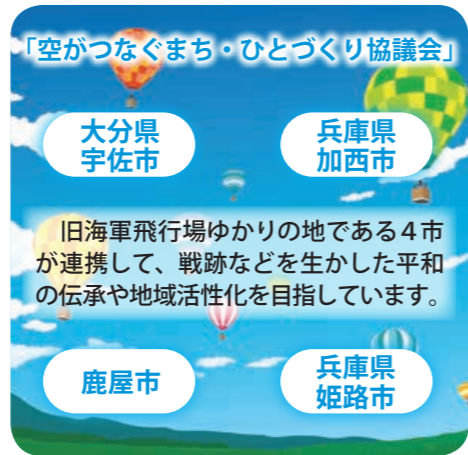
●日時 8月5日（月）～16日（金）8:30～17:15

●場所 市役所1階市民ホール

市政策推進課 Tel 0994-31-1125



戦争を語り継ぐために



▲昭和20年3月18日の空襲時の様子。学校など至る所で黒煙があがっている。

この空襲によって、学校内に警報が鳴り響いたのは、最初の空襲が終わったからのこと。それほど急な出来事だったのでしよう。

4月30日には、爆撃機B-29が飛来し、榴散弾（人馬殺傷弾）が落とされました。県道68号線から南側の40～50軒の民家が焼け、私が避難前に住んでいた家も焼けました。空襲による火事で亡くなった人はいませんでした。爆撃により防空壕が崩れ、一番奥に避難していた一家4人が亡くなりました。爆弾が大型

身近にあった飛行場 昭和20年、当時私は10歳で笠野原国民学校（現・笠野原小学校）の5年生でした。学校の敷地内には兵舎が2棟有り、兵隊のほか飛行機の整備員も常駐していました。

3月18日未明、いつものように飛行場の方に目をやると、今まで見たことのない異様な光景が広がっていました。飛行機が、1機、また1機と、私たちの目の前で次々と墜落していくのです。はじめは「今日の演習はなんだか変だな」と思いましたが、よく見てみると、墜落していくのは滑走路から飛び立った直後の飛行機ばかり。地上から迎撃するために空へと伸びる曳光弾を目にしたときに、米軍機による空襲だと気づきました。

一度夜に笠之原へ戻り、朝早くに祓川へ帰っていたそうです。4月30日には、爆撃機B-29が飛来し、榴散弾（人馬殺傷弾）が落とされました。県道68号線から南側の40～50軒の民家が焼け、私が避難前に住んでいた家も焼けました。空襲による火事で亡くなった人はいませんでした。爆撃により防空壕が崩れ、一番奥に避難していた一家4人が亡くなりました。爆弾が大型

目の前で飛行機が次々と墜落していききました

つけ、それを戦闘機で後ろから狙い打つという訓練。友人と固唾を飲んで見ていたのをよく憶えています。

米軍による空襲

空襲は毎日のように続き、主に飛行場を狙って行われました。私は家族や親戚合わせて15人ほどで飛行場から1kmほど離れた山に逃げ、小屋を建てて生活しました。高隈、大黒、祓川方面に逃げた人もいたと聞いています。

笠之原が焼けた日

あつた兵舎はすべて焼き尽くされてしまいました。



よしかわ としみつ 吉岡 利光 さん
昭和10年生まれ。84歳。笠之原町出身

の物であれば、防空壕に避難していた人全員が亡くなっていたことでしょう。

幻となった線路

思いいます。もしも空襲を受けることなく、戦争が続いていたとしたら、この線路は開通していたのかも知れません。

今の世代に伝えたいこと

昭和20年の終戦間際には更に戦争が激化し、食料・弾薬・燃料などを運ぶために「鹿屋駅」から飛行場に通ずる線路建設が進められていました。当時、新川町から飛行場へとつながる道路には、線路を敷くための土手が作られており、川東町にある衛生処理場周辺までは、引き込み線が伸びていたと

「海軍航空隊笠野原基地」に関する展示コーナーを設置予定です

笠之原町に令和2年4月オープン予定の「JA鹿児島きもつき」直売所の敷地内に、「海軍航空隊笠野原基地」に関する展示コーナーの設置を予定しています。

この展示コーナーを平和教育の拠点施設として、平和の発信を行っていきます。

市ふるさとPR課 Tel 0994-31-1121

笠野原基地に関する主な戦争遺跡

笠野原基地地下道入口跡

東西に走っていた滑走路に通じる地下道及び地下指令室への入口だったのではないかとわれています。



海軍航空隊笠野原基地跡の川東掩体壕

掩体壕とは、航空機や物資などを敵の攻撃や爆風から守るために作られた施設。土をコの字型に盛ったものからコンクリート製のものまで、たくさんの掩体壕が基地周辺に建設されました。

